

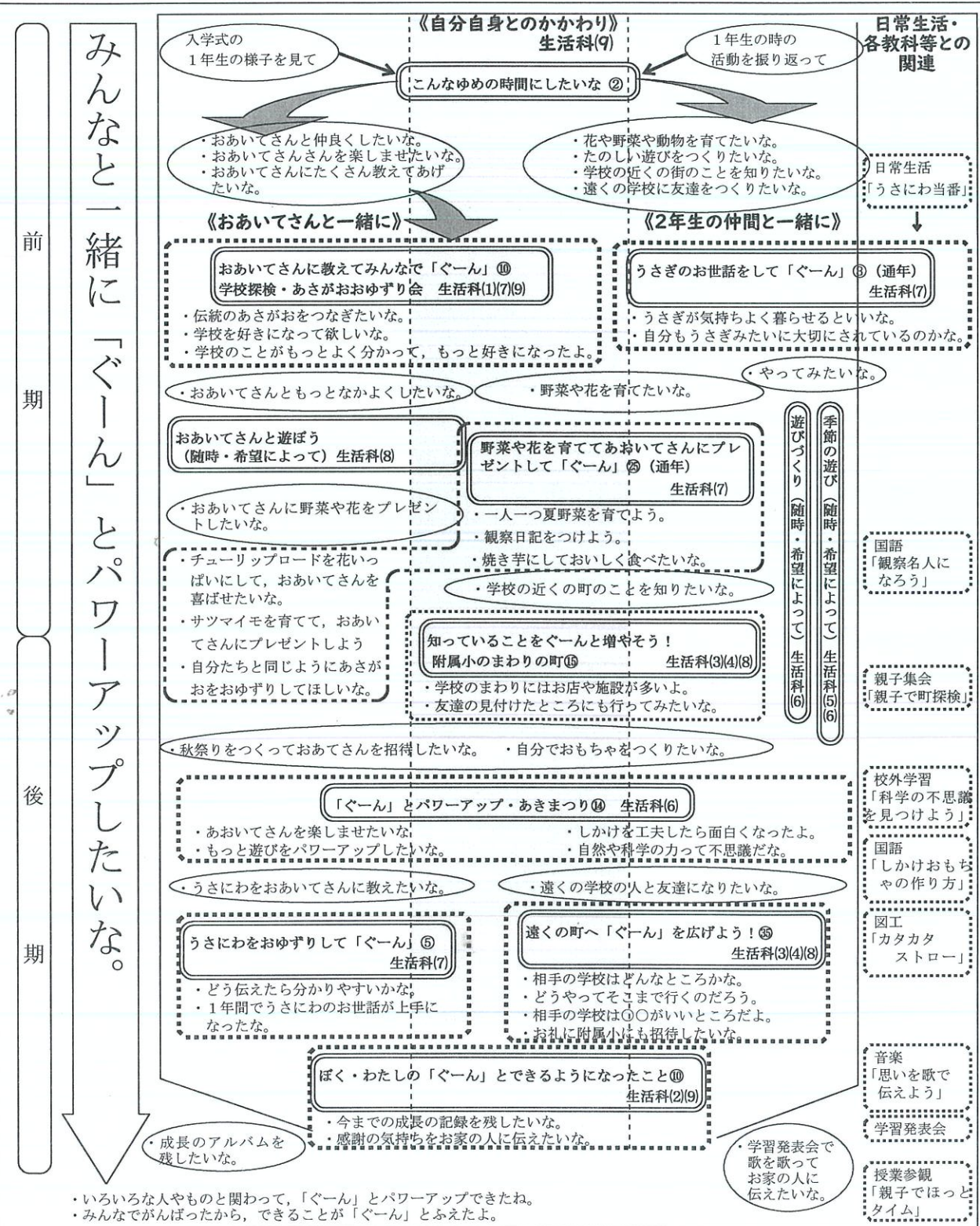
1 テーマ みんなといっしょに「ぐーん」とパワーアップ

2 めざす子どもの姿

- 子どもたちの達成感や成長などを「ぐーん」という合い言葉で表し、今の自分よりも「みんなと『ぐーん』とパワーアップたいな」と願いながら活動することを通して、身近なもの・こと・人と関わりながら、自分のやってみたいことを見付け、繰り返し活動に取り組む中で、それらの対象について理解する。
- よりよい活動にしていくために、自分たちにできることを話し合いながら活動し、体験したり活動したりしたことについて、言葉や身体表現、歌や製作物などで表現し、様々な会を開いて発表する。
- 「みんなと一緒に『ぐーん』とパワーアップしないな」という思いを叶えるために、仲間と一緒に活動したことを振り返り、これまでの8年間でするようになったことに気づき、学びや生活に生かそうとする。

3 活動計画 (122時間扱い)

○：時数



※それぞれの活動を生活科の内容(9)自分自身の成長と関連付けて実践していく。

4 実践報告

〈ゆめの立ち上げ〉

附属小での1年間を経験し、入学式にて新たに1年生を「おあいてさん(ペアになって活動する1年生)」として迎えた2年生の子どもたちは、年度当初、1年生の頃に2年生からしてらったことは、もっとよいものにして、おあいてさんにしてあげたいという思いをもっていった。また、2年生の仲間と一緒に、1年生の頃よりも規模や範囲を大きくした活動をしてみたいという思いももっていた。そして、「3年生に向かってもっともっと成長したい」という思いをふくらませた。こうした活動で、みんなといっしょにぐーんと大きく成長しパワーアップしていきたいと願い、その合い言葉を「ぐーん」とした。そして、活動のテーマを「みんなといっしょに『ぐーん』とパワーアップ」することを共有し、活動を始めることにした。

〈おあいてさんと一緒に〉

○おあいてさんに教えてみんなで「ぐーん」 学校探検とあさがおおゆずり まずは、1年生の頃の気持ちを思い出しながら、「ふぞく小のすてきな場所を教えたい」「ずっとつながってきたあさがおの種をおおゆずりしたい」と「学校探検」と「あさがおおゆずり」の準備に取りかかった。学校探検では一人一人がおあいてさんの手を引いて、おあいてさんを気遣いながら活動する姿が見られた。あさがおおゆずりでは、自分たちも前の2年生から種をおおゆずりしてもらったことを思い出し、おあいてさんを見守りながら共に活動する姿が見られた(写真1)。「おあいてさんにやさしくしたい」という相手意識の高まりが見られる活動となった。

○「ぐーん」とパワーアップ 秋のおもちゃ祭り

秋には、「自然や科学の力を使ったしかけおもちゃつくって1年生に楽しんでもらおう」と磁石、ゴムや風のしくみを利用したおもちゃを使った「おもちゃまつり」を計画し、1年生を招待した。ゴムの力で走る車をつくった子どもたちは、「ゴムを伸ばせば伸ばすほど、車は遠くまで進むよ」と気付いた。気付いた科学の仕組みを生かしながら「車の進んだ距離によって得点を変えると盛り上がるよ」などと話し合い、仕掛けやルールを考えていった。お祭り当日も、1年生がより楽しめるようにと、考えながら活動をする姿が見られた(写真2)。

〈2年生の仲間と一緒に〉

○知っていることを「ぐーん」と増やそう! 附属小のまわりの町

「学校の周りの知っていることを増やしたい」という子どもたちの願いから、「町探検」が始まった。全員で学校の周りを4つのコース(水戸駅周辺・南町商店街・芸術館・歴史)を設定し、探検してみると「もっと詳しく見てみたい」という思いが芽生えてきた。それぞれがまた行ってみたい・もっと知りたい場所を決め、4つのコースからそれぞれが選んだコースに再度探検に行ったことで、多くの発見があり、社会科の学習につながる学びを広げる姿が見られた(写真3)。

○野菜や花を育てて「ぐーん」

1年生の時にあさがおを育てた経験を基に、他の野菜や草花などを自分で選んでそれぞれの鉢植えで育てることにした。また、学年全体で、舗装運動場前の花壇でサツマイモの苗を植えた秋になると、サツマイモが収穫できた(写真4)。これらの活動を通して、子どもたちは、植物が花や実をつけるときの喜びを感じ取ることができた。また、植物の生長を見続けたことで、多くの発見があり、理科の学習につながるような学びを広げる姿が見られた。

○遠くの町へ「ぐーん」を広げよう! 電車でゴーとようこそ附属小へ

町探検で水戸の町の様子に関心をもった子どもたちは、「遠くの町のことも知りたい」と思いをふくらませていた。事前に相手校と手紙でやりとりをし、当日まで思いを高めながら準備をした(写真5)。当日は、相手の学校のおもてなしを受けながら、附属小の紹介をするなど充実した活動を行うことができた。さらに、「今度は自分たちがおもてなししたい」と附属小に招く計画を立て、子どもたちができる限りのおもてなしを行うことができた。

こうして子どもたちは、「3年生に向かって知っていること、できることを増やして、もっと成長したい」という思いを原動力として、「みんなといっしょに『ぐーん』とパワーアップ」していく姿を目指して活動をつくってきた。1年間の活動を通して、達成感を味わいながら、自分の成長に気付いていく子どもたちの姿をみとることができた。(文責:井坂 宏子)



写真1 一緒に種を植えている様子



写真2 ゴムのしくみを教える様子



写真3 町探検



写真4 いもほり



写真5 学校紹介練習